

| 科 目 | 単 位 (時間) | 担 当 者 | 授業時期 |
|------|-----------------|---|-------|
| 臨床検査 | 1 単位 (15 時間) | 市川 徹郎 (病院医師) 柴田 綾 (臨床検査技師) 山田 慎之助 (放射線技師) | 3 年前期 |

【学習目標】

疾病や病態の診断や経過を判断する上で必要な検査を理解する。
放射線及び超音波による画像検査の基本と放射線防御について理解する。

【授業の進め方】

講義

病院検査室・放射線検査室見学 (時間外)

【授業スケジュール】

- 1 臨床検査とは (医療の中の臨床検査の位置付け、目的、種類、基本検査と精密検査)
- 2 臨床検査データの基礎
- 3 臨床検査の流れと看護師の役割
- 4 臨床検査の流れと看護師の役割
- 5 超音波, I V R、血管造影
- 6 放射線医学, 画像診断、X線診断
- 7 C T、核医学、MR I
試験

【教科書】

系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 医学書院
系統看護学講座別巻 臨床検査 医学書院

【参考書】

なし

【評価方法】

筆記試験

| 科 目 | 単 位 (時間) | 担 当 者 | 授 業 時 期 |
|-------|-----------------|-------------------|---------|
| 社会福祉論 | 2 単位 (30 時間) | 平山 茂光 (元社会福祉士) | 3 年前期 |

【学習目標】

病気やケガのために療養を必要とする人々の生活を支える公的仕組みとしての社会保障制度の大枠をとらえ、働けなくなることに起因する所得の減少・消滅に直面した患者や家族の暮らしを守り、安心して療養が継続できるように援助していくために必要な基礎的知識を身につける。

【授業の進め方】

「授業の進行計画」(別途配布)に沿って、1日2コマ進め、休憩時間など掲示した色々な資料を見て、日々変化する社会と、それに適応するように社会保障制度が改正される姿を報道等の資料も駆使して授業が立体的、多角的に展開できるように努めていきたい。

【授業スケジュール】

- 1 社会保障制度
- 2 社会福祉の法制度
- 3 現代社会の変化
- 4 医療保障 1
- 5 医療保障 2、介護保険制度 1
- 6 介護保険制度 2
- 7 所得保障
- 8 前半の振り返りと確認
- 9 公的扶助 (生活保護制度)
- 10 高齢者福祉、ひとり親家庭の福祉、社会福祉と母子保健
- 11 障害者福祉
- 12 児童・家庭福祉
- 13 婦人保護、その他の福祉
- 14 福祉の専門職種と看護の連携、後半の振り返りと確認
- 15 試験

【教科書】

系看 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉 医学書院

【参考書】

社会保障の手引き 中央法規出版

【評価方法】

筆記試験

| 科 目 | 単 位 (時間) | 担 当 者 | 授業時期 |
|------|---------------|---|------|
| 公衆衛生 | 2単位 (30時間) | 松本 清美 (学校長保健師) 西村 美紀 (市保健師) 六川 美里 (市保健師) 風間 なつ美 (市保健師) | 3年後期 |

【学習目標】

健康や生活の質を、個人や生活する地域全体、職域、学校、さらには社会全体の枠組みの中で考え、広く集団や社会の視点から健康問題をとらえることができる。また、関係する保健衛生に関する法規や行政のしくみを理解する。

【授業の進め方】

学校長が公衆衛生総論として第1回から第4回まで、第5回から公衆衛生各論として県及び市町村保健師による地域の保健活動の実際を講義する。地域保健分野終了後に学校保健、産業保健の講義を行う。

授業は教科書及びパワーポイント資料等による講義を中心に行い、適宜グループワークを取り入れる。

【授業スケジュール】

| No | 日時 | 内容 | 実施者 | 備考 |
|----|----|--|------|---------|
| 1 | | 公衆衛生の歴史、公衆衛生システムと政策 | 学校長 | 教：第1・2章 |
| 2 | | 公衆衛生の理念・概念(ヘルスプロモーションとソーシャルキャピタル) 公衆衛生のものさし(統計情報の収集と見方、衛生の主要指標など) | 学校長 | 教：第3章 |
| 3 | | 公衆衛生のものさし(統計情報の収集と見方、衛生の主要指標など) | 学校長 | 教：第4章 |
| 4 | | 公衆衛生活動のプロセス | 学校長 | 教：第5章 |
| 5 | | 保健所の役割と保健師活動について、母子保健対策について | 県保健師 | 教：第6.9章 |
| 6 | | 精神保健福祉対策について | 県保健師 | 教：第10章 |
| 7 | | 難病対策について | 県保健師 | 教：第11章 |
| 8 | | 結核・感染症対策について | 県保健師 | 教：第13章 |
| 9 | | 市町村の保健活動について(成人保健) | 市保健師 | 教：第8・9章 |
| 10 | | 市町村の保健活動について(母子保健) | 市保健師 | 教：第6章 |
| 11 | | 市町村の保健活動について(高齢者保健) | 市保健師 | 教：第7章 |
| 12 | | 学校保健について | 学校長 | 教：第14章 |
| 13 | | 産業保健について | 学校長 | 教：第15章 |
| 14 | | 公衆衛生まとめ | 学校長 | |
| 15 | | 筆記試験 | | |

*備考欄の「教」は教科書「健康支援と社会保障②公衆衛生」の該当箇所を記載。授業の事前・事後学習として、該当ページをよく読んでおくこと。

【教科書及び参考書】

メディカ出版：健康支援と社会保障② 公衆衛生、 医学書院：健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令
厚生労働統計協会：国民衛生の動向を用いる。参考書は必要に応じて紹介する。

【評価方法】

筆記試験により評価する。

| 科 目 | 単 位 (時間) | 担 当 者 | 授 業 時 期 |
|------|-----------------|--|---------|
| 関係法規 | 1 単位 (15 時間) | 和田 丈 (長野保健福祉事務所副所長) 小野 辰哉 (食品・生活衛生課長) 宮崎 多恵 (検査課長) | 3 年前期 |

【学習目標】

法律の基礎知識を学び、生活者の健康を守るための法規の内容を理解する。

【授業の進め方】

講義

【授業スケジュール】

第1回 第1章 法の概念 第2章 看護法

第2回 第3章 医事法

第3回 第4章 保健衛生法

第4回 第4章 食品に関する法 第6章 環境衛生法

第5回 第5章 薬務法

第6回 第7章 社会保険法 第8章 福祉法

第9章 労働法と社会基盤整備

第7回 第10章 環境法

試験

【教科書】

メディカ出版：ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障[4] 看護をめぐる法と制度

【参考書】

随時 参考資料提示

【評価方法】

筆記試験